



第206回 深田研談話会

深田地質研究所では、「地質学およびその関連分野における先端的研究者と、地質・地質工学関係の、特に若手技術者との相互交流の場を設け、交流を通して応用地質学の実践と技術の向上を図る」ことを目的として、「深田研談話会」を開催しております。

暴れる気候と暴れない気候 ～人類は「予測不可能」な時代をどのように生き延びたか～

中川毅氏

立命館大学

総合科学技術研究機構 教授

講演概要 地質学的な時間スケールで見たとき、「現代」とはどのような時代なのでしょう。氷期の地球は現代とはまるで似ていない、激しい変動が日常的に繰り返す世界でした。いっぽう、氷期が終わってから現在までのおよそ1万年間の気候は、例外的に温暖で、そして安定しています。その1万年の間に、人類は農耕を開始し、文明を発展させてきました。しかし現代の地質学は、安定した時代が永遠には続かないことを示唆しています。去年までの常識が通用しなくなる「その日」は、いつ訪れるのでしょうか。その時のために、人間は何をしておくべきなのでしょう。現代に突きつけられた課題の本当の意味について、最新の地質学の立場から考察します。



福井県水月湖。1年に1枚ずつ堆積する地層「年縞」が7万年分あることで知られる。左端はボーリングで得られた水月湖の年縞の写真。

日時 2026年1月16日(金)

15:00～16:30【14:30 開場】

場所 深田地質研究所 研修ホール
& オンライン (Zoomウェビナー)

※会場とオンラインのハイブリッド開催

定員 会場参加:50名
オンライン参加:450名 (先着順)

参加費 無料

CPD単位 「深田研談話会」は、CPD履修実績として申請できます(1.5単位)

参加ご希望の方は、必ず事前に深田研ホームページよりお申込み下さい。

申し込み期間: 2025年12月10日(水)～2026年1月13日(火)17:00 (定員に達し次第締め切ります)

本イベントに関するお問い合わせ先:fgi_event@fgi.or.jp



都営地下鉄三田線千石駅下車A1出口より徒歩3分

公益財団法人 深田地質研究所

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-13-12
TEL: 03-3944-8010 FAX: 03-3944-5404
<https://fukadaken.or.jp>

